

日本のAI新戦略：理念から「実装」中心のAX（AIトランスフォーメーション）へ

日本の「勝ち筋」を定義する2つの核心

バーティカルAI：現場の「暗黙知」を垂直統合

データ・モデル・アプリを統合し、各業界の現場で即戦力となる領域特化型AI。



フィジカルAI：現実世界での自動実行

AIの判断をロボットや機械を通じて実行し、労働力不足や産業競争力を直接改善。



「AI主権」の確保と実装能力の強化

特定の国・企業への過度な依存を避け、計算資源から制度までをパッケージで強化。

実装の重点領域と「行政からの開始」



戦略的三群による投資の最適化

市場性・公共性・戦略性の3軸に基づき、19の重点領域へ資源を集中投下。

公共性が高い
医療・介護・福祉、
農林水産、建設、教育、
行政、エネルギー

